

上意東 研修センターだより

令和三年六月一日

173号

発行責任者
上意東地域づくり協議会会長
森廣光彦

さわやかな風に包まれて、4月9日、掛屋小学校の入学式が行われ、58人の新一年生が胸を膨らませ、新たな一歩を踏み出しました。



上意東地区新役員の皆様



- 上意東地域自治会役員**
- 会長 森廣光彦
 - 副会長 森口幸徳 石田八恵子 石橋時志
 - 会計 太田 真
 - 監事 石橋光弘
- 上意東地域自治会 委員
- 生活環境保全推進員 石田康夫
 - 交通安全対策協議会幹事 森口重人
 - 星上峠展望台整備検討委員会会長 三島一成
 - 上意東地域交通安全協会会長(分会長) 石橋哲三
 - 体協 上意東支部長 福島忠男
 - 有識者(会長推薦) 森廣公一 山本大雄

	単位自治会長	副会長	環境委員	保健委員	福祉委員	交安協委員	体協理事委員(右委員)	女性の会
本谷奥組	石橋時志	石橋哲三	石橋時志	三島佳男	三島輝和	石橋哲造 三島佳男	三島佳男 水野巧	水野秀子 石橋多恵子
本谷中組	太田 真	森口重人	森口重人	森口重人	石橋新三	三島要一 森口慎吾	福頼幸正 広江健治	森口澄子
本谷下組	西山正之	伊藤博一	西山正之	濱田孝俊	西山正之	奈良井洋平	足立敏幸 足立敏幸	
高庭	石田康夫	福島忠男	石田康夫	一瀬早人	角 知子	上山根光夫 石田正樹	福島忠男 周藤昌子	一瀬幸穂
畑	廣江暢稔	石橋修治	石橋修治	森廣芳昭	三島 博	藤本洋一 石橋達也	富士本孝幸 藤本智之	三島治美

小学校入学おめでとうございます



一瀬莉央さん

りおさん、のどかさん、

小学校入学おめでとうございます。

おともだちをたくさんつくってください。先生のおはなしをよくきいて、いろんなことをおぼえてください。へんじはおおきなこえでしてください。

かみいとうの
みんなより



石橋和香さん

郷土の史跡 福良城探訪

春の晴れた日に戦国時代の史跡福良山(標高199メートル)

戦国時代、福良山にあった福良城(意東城)は高庭にある史跡です。古文書によれば、この



岩崎神社付近から高庭交差点の方向を撮影 福良山の全景

岩に尼子軍が、鉄砲200丁で攻め込んだと記されています。4人連れの一行は、上山根国光さんの案内で、約25分かけて頂上に到着しました。道中急なところもありますが、歩きにくいことはありません。頂上付近は平らなところもあり、中海から上意東の谷が一望できる場所です。監視の拠点としては良い場所です。入口には案内がありますが、途中道標の設置が望まれます。多くの皆さんにも登っていただくことを希望します。

研修センター便り発行について

上意東の情報誌として 今後毎月発行します

研修センター便りの 34年を振り返って

今日まで発行されてきた研修センターだよりは「これを読めば上意東がわかる」「上意東で暮らす住民どうしの絆を形成する大黒柱」であることとを共通認識とした上で、話し合いを行い、次のことを決定しました。

- ①発行責任者は今後発足する上意東地域づくり協議会会長 森廣光彦氏とし毎月発行する。
- ②名称は公民館が廃止になったことから新たな名称に変更するか、従来の名称を使うか、今回皆様の意向をアンケートして決定することにしました。
- ③編集長は水野正美氏とし、編集作業および記事の収集はおちらと村の事務局が担当します。
- ④発行経費は上意東地域づくり協議会の事業費などから捻出します。
- ⑤今後、上意東を故郷とされたい地区外の皆様(希望される方)等にもお届けすることをします。
- ⑥発行に当たり各集落に連絡員をお願いし、掲載内容の充実などを図るとともにスマートフォンから事務局に画像、記事など送っていただくことを検討します。

上意東研修センターだよりは、上山根隆館長の時代、1987年(S62)に発行されて以来、今回で第173号となりました。カラー発行してからは、6年になります。近年は、ほぼ毎月上意東地域で行われたイベントや、集いなどが掲載されてきました。上意東で暮らされている皆さんの絆づくりと、発展のために大いに役割を果たしてきました。しかし、今般上意東公民館が廃止になったことから、新しい時代に向かって地域コミュニティを積み重ねるために、この際名称の変更を行うべきとのご意見もあります。

今回、次のとおり皆様に

ご意見を伺います。

- ①なじまれた名称であり、現状で良い。
- ②来月号から変更すべきだ。

私が推薦する名称は「」です。皆様はどう思われますか？来る6月20日(日)までにおちらと村事務局までお知らせください。方法は電話かファックスあるいは、「①とか②」とか、その他あなたのお考えをお知らせください。おちらと村で、集計し本紙等で発表いたします。

まだらじん 摩多羅神を知っていますか

感染症の拡大から見る上意東の歴史のひとつ

古来より人類が恐れていた、職によれば、明治時代中期、たものとして、災害と、疫村に伝染病が流行し、亡く病があげられます。乗光寺なる人も多く困り果てた当の南側より境内に入ると右側の小さな祠があります。これが摩多羅天堂(マタリテンドウ)です。乗光寺住



風格のある摩多羅天堂のお社

に祀ったと言う歴史があります。毎年6月末に中組の皆様が、祭りをを行います。当時の病気は、コレラか赤痢と思われませんが、当時の窮状が想像できます。このほかに上意東地区には、岩崎神社や不動尊など疫病と関係のある神仏がありコロナ禍の今とても興味深い史実です。

上意東でしか味わえない柿アイス ついに完成

福農園のアイス「おとで」ふるさとのかおりを凝縮 地産地消で町おこし

高庭の福岡博義さんの農園で、西條柿を材料にしたアイスが完成販売されることとなりました。試作を繰り返し1年がかりの、ここ上意東でしか味わうことのできないオリジナルの製品です。当面は、百一茶屋で販売されるそうです。3個がワンセットで、アイス「おとで」です。緑が柿の葉を使った柿茶を使用、やや薄い色が柿ピューレ、濃いのがほし柿の粉末がそれぞれ原料



左が柿アイス「おとで」 右がほし柿を入れたアイス

「百果物語」も先行販売されています。福岡さんより「地域おこしになれば幸いです。ぜひお越しください」とのコメントをいただきました。連絡を入れてからお訪ねください。 ※「おとで」出雲方言で「兄弟」の意です

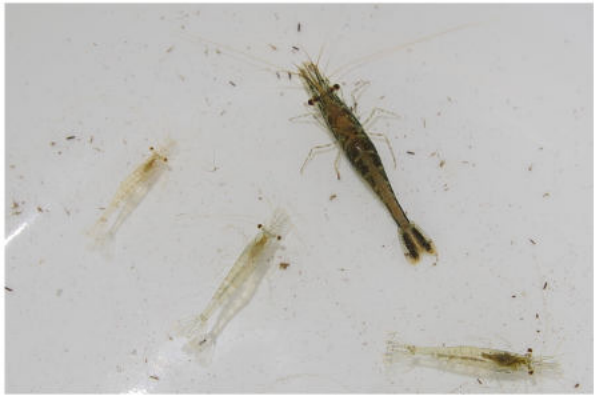


クッキー「百果物語」

第40回 ミナミヌマエビ 上意東に生きる生き物たちも私たちの仲間だ

透明な体は川の貴婦人 飼育してみましよう

上意東の川にもエビを見る事ができます。おちらと村の近くの岸に野草が生えている付近にいます。簡単に捕まえることができます。体が透明で、見つけにくいです。やや網目の細かい物が必要です。水槽内の藻類や水垢などを食べて水槽の掃除役をする生き物として知られています。めだ



大きくなっても3センチ大きいのはメス この時期卵を抱えています

どのおとなしい魚がよいでしょう。飼育寿命は一年ほどで、うまくなると水槽内でどんどん繁殖するようです。場合によっては繁殖のし過ぎに注意が必要となります。おちらと村より岩鼻橋付近にたくさんいますので飼育してみてください。このエビが増えることにより、このエビを餌にする生き物が増えると思えます。50年前にもたくさん繁殖していた話を聞きました。おちらと村の玄関先に水槽を置いていただきますので、見に来てください。

上意東の四季を見る



一徳神社のフジ 満開 5.10



青空に映えるヤマボウシ 畑にて

上意東の行事予定

- 6月 5日(日) 生き物観察会 (おちらと村 要予約) 30日(水) **上意東集団健診** (上意東研修センター)
- 京羅木山屋上山ハイキング グコース整備
- 上意東地域づくり推進協議会設立総会

7月 10日(土) 金刀比羅宮夏祭

令和3年度 東出雲地区集団健診のお知らせ

本年、上意東研修センターで、集団健診が行われます。

会場 上意東研修センター

2年ぶりの健診です。上意東地区の健康づくりは、上意東地区健康づくり推進協議会が中心となり、長年この健診を中心にして、取り組まれてきました。地区にとっても貴重な取り組みです。上意東での健診を継続するためにもみなさんの受診よろしくお願います。

9月9日、10日には、東出雲保険相談センターを会場に集団健診が実施されますが、上意東会場が早く健診を終えることができると思っていますので、ご利用ください。

お詫びと訂正5月号

福祉委員(高庭) 一瀬 隼人さん

角 知子さん でした。



日程

6月30日(水) 午前

